



まだまだ残暑が厳しいですが、朝晩、少しは秋を感じられるようになってきたでしょう。9月はズズメバチがもっとも活発な時期ということで、対処法など調べて見ました。最近ではマンションのベランダ等にも巣が作られることがあります。小さなお子様がおられる方は特に注意して下さいね。

## ~ 9月が危険! スズメバチに殺されたくない人は知っておくべき対処法 ~

毎年、9月頃になるとスズメバチが猛威をふるい、刺されて亡くなった方の報道が流れます。スズメバチが攻撃的になる危険な期間は8~11月で、働き蜂が活発に活動し、巣が大きくなり改築されていく拡張期の9月がもっとも危ないからです。日本には16種類のスズメバチがあり、そのなかでも、攻撃性が強く危険とされているのが、世界でも最大種のオオスズメバチと、都会の環境に適応しているキロスズメバチです。刺すのは女王蜂と働き蜂のメスのみで、巣に近づくと外敵に対して、周りをしつこく飛び回って「警戒」→アゴを噛み合わせてカチカチと音を鳴らし「威嚇」、そして「興奮」→刺して「攻撃」します。そんな恐ろしいスズメバチに殺されないよう、万が一のときの対処法をまとめてみました。

### ◎被害に合わないための対処法

#### 1: 刺激しない

野山を歩くときは、白い服や帽子を被り、長ズボン、長袖を着用しよう。黒い衣服はスズメバチを刺激して攻撃を受けやすい。整髪料、香水、甘いジュースの匂いにも寄ってくるので注意。

#### 2: 巣を作らせない

住宅の庭の木、軒下、側溝の蓋の裏など、雨の当たらない暖かいところに巣が作られやすいので、春くらいから大きな蜂を見かけたら注意したい。スズメバチの巣を発見したら、すみやかに市役所や保健所に連絡して、駆除してもらおう。

#### 3: 遭遇したら静かに逃げる

80メートル以上離れるまで、できるだけ急いで姿勢を低くしたまま、背を向けず静かに離れる。もし、近づいてきても手で払ったり道具を振り回したり、大声を出したりしない。刺激を与えれば、逃げるどころか、針を立てて襲い掛かってくる。

### ◎刺されてしまった時、被害を最小限にするための対処法

#### 1: 自分の身の安全を確保

スズメバチはミツバチと違って何度も刺すので、刺した蜂がまだ近くにいないか確認する。また、毒針からは仲間に警戒信号を送るフェロモンが分泌されているので、巣から確実に離れる。

#### 2: 毒を絞り出し、傷口を冷やす

体内に毒が回る量を最小限に抑えるため、口では吸わず、指でつまって絞り出し、冷たい水で傷口を洗い流しながら冷やす。所持しているなら、抗ヒスタミン軟膏、ステロイド剤、タンニン酸水を塗りつける。



**自分でできる処置は以上なので、あとは皮膚科に行って診察を受けましょう!**

また、スズメバチに刺されたときに、一番怖いのは『アナフィラキシーショック』です。これは、毒に対して免疫が過剰に反応してしまい、激しいアレルギー反応が出ることで、一度スズメバチに刺されたことがある人が、もう一度刺されたとき、まれに起こる症状です。全身じんましん、発汗、吐き気、頭痛、腹痛などの症状を引き起こし、ひどい場合は、意識がもうろうとして、呼吸困難、血圧の低下により意識を失ってしまいます。蜂刺されによる死亡事故のほとんどが、アナフィラキシーショックが原因ということなので、刺されて数分以内に、全身が赤くなる、呼吸が苦しくなる、血圧が下がるなどの症状が起きたら、急いで皮膚科に駆け込みましょう。



\* 千円程度で毒吸引器が市販されています。傷口が少数箇所できつ特定できる場合は応急処置として使用すれば、被害が軽減できるので、いざという時のために常備しておくのもいいでしょう。ただし、この便利な器具を効果的に使用するためにいくつか条件があります。

1. 毒の拡散を抑えるため動き回らず、2分以内に処置すること
2. 即座に取り出せる場所に保管すること
3. 国内外を問わず、キャンプや遠足等の活動の際には常に携帯すること